

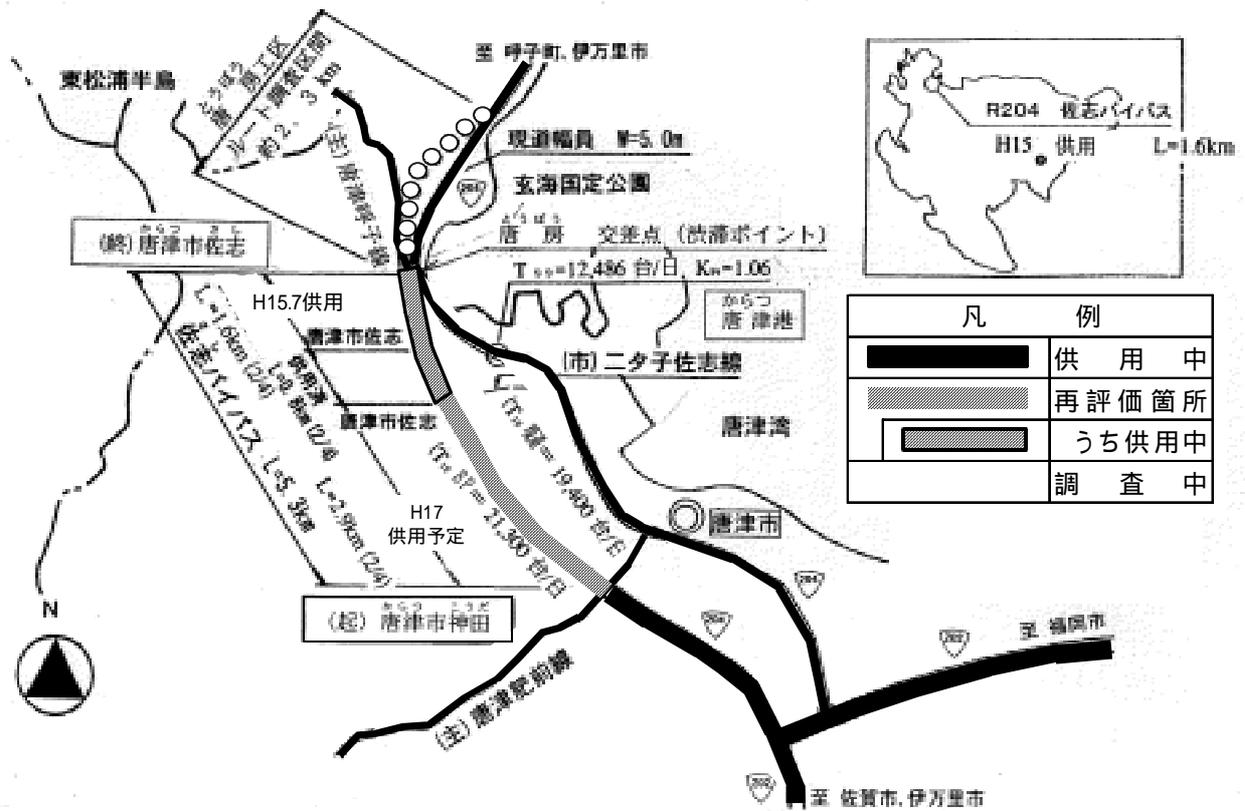
再評価結果（平成16年度事業継続箇所）

担当課：国道・防災課

担当課長名：中島威夫

事業名	一般国道204号佐志バイパス		事業区分	一般国道	事業主体	佐賀県	
起終点	自：佐賀県唐津市神田 至：佐賀県唐津市佐志			延長	5.3 km		
事業概要	<p>一般国道204号は、佐賀県唐津市を起点とし、東松浦半島を循環し、伊万里市を経て長崎県佐世保市に至る延長約164 kmの幹線道路である。佐志バイパスは、唐津市の中心市街地を迂回し交通混雑を緩和するとともに、重要港湾唐津港へのアクセス及び玄海国立公園に指定されている東松浦半島地域へのアクセス機能の向上を目的とした、唐津市神田から同市佐志に至る延長5.3 kmの4車線（暫定2車線）道路である。</p>						
S58年度事業化	S57年度都市計画決定 (S年度変更)		S58年度用地着手		S63年度工事着手		
全体事業費	121億円		事業進捗率	95.0%		供用済延長	2.4 km
計画交通量	16,400台/日						
費用対効果 分析結果	B/C (事業全体) 5.2 (残事業) 4.4	総費用 (残事業)/(事業全体) 16/153億円 事業費：11/148億円 維持管理費：5/5億円	総便益 (残事業)/(事業全体) 70/802億円 走行時間短縮便益：18/691億円 走行費用減少便益：37/80億円 交通事故減少便益：14/31億円	基準年 平成15年			
事業の効果等	<ul style="list-style-type: none"> ・物流効率化の支援（重要港湾唐津港へアクセス向上が見込まれる） ・個性ある地域の形成（主要な観光地東松浦半島地域へのアクセス向上が期待される） 他6項目に該当						
関係する地方公共団体等の意見	一般国道204号は、沿線地域の振興、市街地部の交通混雑緩和等に重要な役割を果たすことが期待されており、唐津市をはじめとする関係2市4町の首長で構成される「国道204号線の整備促進期成会」より早期整備の要望（平成15年10月7日）を受けている。						
事業採択時より再評価実施時までの周辺環境変化等	臨港道路の整備は進んでいるものの、市街地部での交通混雑状況は、ほとんど緩和されていない。						
事業の進捗状況、残事業の内容等	現在までに約2.4 kmの部分供用を行っている。残る2.9 kmについても市街地部の交通混雑緩和等に役割を果たすことが期待されていることから、早急な整備が望まれる。						
事業の進捗が順調でない理由、今後の事業の見通し等	一部において、相続問題等により用地買収が難航し、埋蔵文化財の本調査実施により着工箇所の制約等があり事業に遅延が生じたが、その後用地交渉及び調査も順調に完了し、残る用地買収も平成16年内に完了させ、平成17年には全線供用予定である。						
施設の構造や工法の変更等	特になし。						
対応方針	事業継続						
対応方針決定の理由	以上の状況を勘案すれば、当初からの事業の必要性、重要性は変わらないと考えられる。						

事業概要図



総費用、総便益とその内訳は、各年次の価額を割引率を用いて基準年の価値に換算し累計したもの。